

藤崎准教授（弘大大学院）**に瀬口賞**

日本機械学会 生体組織研究を評価

弘前大学大学院理工学研究科の藤崎和弘准教授が、バイオメカニクス（生体機械工学）分野での業績が認められ、日本機械学会のバイオエンジニアリング部門で、35歳以下の優れた研究者に贈られる「瀬口賞」を受賞した。藤崎准教授は「非常に光栄。ほかの研究機関などと連携して、応用技術につなげられたら」と喜びを語った。

生体組織の微視構造観察と力学特性評価に関する研究が評価された。受賞は1



瀬口賞受賞を喜ぶ藤崎准教授

月9日付。骨に関する研究では、骨にどれほど負荷がかかっているかを体の外側

から測定できる技術を活用し、骨折や骨粗しょう症の治療などへの応用が期待で

きるという。

藤崎准教授は、雪による桜やリンゴの木の変形、枝折れなどについても、研究を進めていく考え。「地域にある問題の解決に貢献していきたい」と取材に語った。

瀬口賞は、同部門の創設に尽力した故瀬口靖幸博士（元大阪大学教授）の功績を記念して設けられた。

（秋村有香）

※この画像は当該ページに限って
東奥日報社が利用を許諾したものです。
[問合せ先]弘前大学理工学研究科
jm3505@cc.hirosaki-c.ac.jp